

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和5年8月24日（木）13時30分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
栗崎企画調査官、真田安全審査官、上野管理官補佐、小舞管理官補佐、大島原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
小澤企画調査官、石井主任監視指導官、正路管理官補佐
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 マネージャー 他1名
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他14名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 3号溶融炉の運転条件確認試験について
資料2 工程洗浄の進捗状況について
資料3 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所再処理施設に係る廃止措置計画変更認可申請書(令和5年5月31日申請、令和5年8月8日一部補正)について
資料4 東海再処理施設の性能維持施設の見直しについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	結力規制庁の嶋でございます。それでは本日のメンバーを始めさせていただきますと思います。早速ですが、ご提出いただきました資料に基づきまして、経営委員の方からご説明の方をお願いいたします。
0:00:17	営業商工モリカワです。まず方TAFにおける固化処理状況についてということで宇山社長状況の口頭で報告させていただきます。
0:00:27	ATFの状況ですが、両案型マニピュレーターM120%の方の右上半部分の導通不良については、現在除染セルの方で、
0:00:40	接続コネクタ部の人手の詳細点検及び整備を実施しているところでございます。
0:00:47	また右上のコードリール、こちらについては巻き取り不良っていうところの確認されてますのでこちらについても通りの分解点検を実施しているところでございます。
0:00:59	整備につきましては、ケーブルクランプを含むコード意識の交換ということで、
0:01:08	今予備の坑道利用ありますのでこちらの方の交換に向けて、準備を進めているところでございます。
0:01:16	もう一つセル換気系排風機の予備系の自動切替ってということで8月19日に起きた事象について、
0:01:26	簡単に経緯の方を説明させていただきます。
0:01:30	こちらの8月19日土曜日の22時54分頃をTVFの廃棄開始、311と言われるところに、
0:01:40	設置しております設計の排風機、コンチ07k54というのがありましてこちらが停止し、
0:01:49	予備機、計55が自動的に切り替わってます。こちらの常時1台運転で、1台待機という状況で、運転機がこそ停止し予備機が自動的に立ち上がったという状況です。
0:02:03	停止した排風機、飯野大賀以下、理事長の涌井周東もなく、
0:02:09	排風機わけ芝は可能な状況でありました。
0:02:14	低下幅の排風機の電気デッキの点検を行ったところ、
0:02:19	漏電リレーが作動しブレーカーをトリップしていることを確認しております。また電動機の絶縁抵抗を測定したところ、
0:02:27	通常の400V0.4メガオオブ以上をなんですけど0労務ということで、絶縁が低下してるということを確認してます。
0:02:37	このようなことから、今回の事象については、セル系の排風機、計54号の電動機の絶縁不良、オージェ絶縁抵抗の補助により、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	地絡は補正資料でリレーが作動し、提出したものというふうに判断しております。
0:02:54	この停止の排風機警報重要の電動機については、日曜日次の日、8月20日。
0:03:01	予備の電動機に交換し、20日の13時40分から14時40分にかけて試運転を行いまして、
0:03:11	電流温度振動等異常ないことを確認し、14時45分にばっかり復旧という形にしております。
0:03:19	この仮復旧につきましては、この当該不原動機の交換っていうのは、
0:03:26	平成30年11月30日に認可を行った排泄計画において性能技術の解除等に関わる工事として、
0:03:34	以上の状況を確認された場合また絶縁不良等による故障が発生した場合に速やかに交換システムを検査するものとされておまして、
0:03:44	この認可に基づきまして効果を行い、今後庄野自主検査を受検する予定ということで、所有毎週検査の受検までの間は、
0:03:54	仮復旧という位置付けで、管理する形となります。
0:03:58	本章伴いまして、山賀田丸ペーパーの右の半分の道中不良に関わる作業を是正するので行っておりますが、土日でこの差異を復旧しておりますのでここは作業への影響はありませんでした。
0:04:11	説明は以上となります。
0:04:16	はい。規制庁大嶋です。それでは先ほどの説明に対しまして確認事項等ありましたらお願いいたします。
0:04:52	よろしいですかね。すいません規制庁の沖山ですけれども、助成る9買付けのPublですけれども、今、管理部、
0:05:01	9、
0:05:03	されているということですが、完全な対応が完了できるのはいつごろになりますでしょうか。
0:05:13	はい営業職モリカワです。一応機能的には問題ない状況で、万が一運転機が故障とかした場合は予備機として起動するような形で対応ができています状況です。
0:05:27	仮復旧を本気復旧するための障害児検査を受検する必要がありましてこちらの方の品質上の書類とか整理しておまして、一応2週間1週間ぐらいちょっとそちらの方の手続きを踏まえた上で、
0:05:43	復旧という形の手続きの方に進めていきたいと考えております。以上です。規制庁の嶋です。書類上、書類の方で時間かかるということで
0:05:54	交換した、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:00	動きでしたっけ。
0:06:01	については何か
0:06:05	またその間にそのホーム急に向けて、公開が必要というものではなくって、それをそのまま使い続けるような、そういった対応ということで間違いないんですかね。
0:06:19	はい。原則を満たす交換してるものについては昨日城東問題ないので、通常使える状況ではあるんですけど、現在の許認可上の障害自主検査の受検っていうのがありますので一応仮復旧という位置付けで待機してるような今状況でございます。以上です。
0:06:37	はい。規制庁三森です。承知いたしました。
0:06:44	その他ございますか。
0:06:48	よろしければ、続いて、資料 1 の説明の方をお願いいたします。
0:06:55	元機構の小高でございます。監視員会合資料といたしまして資料 1、3 号用の運転条件確認試験について。
0:07:05	前回の面談で、コメントいただきます。これを踏まえて推薦の方行っておりますので、制度変更箇所の方ご説明させていただきます。
0:07:16	まず 3 ページの元に変更ございません。4 ページ目からですね試験の目的ということ等ですが、原価の記載では
0:07:31	個別のですね目的、(1) から (5) ということで、並列でちょっと示しておりましたが、これだとちょっと
0:07:39	この本試験のですね、ちょっとこういうことになる部分というところがわからないということもございますので、前回面談の中で規制庁部門からいただいておりますこの試験の目的に対するご認識。
0:07:52	も行いまして、改めてですね、整理いたしまして運転条件確認試験の目的ということで、4 ページ目の上の方にですね追記させていただいております。
0:08:04	中身といたしますけど、この時点ではこれまでに本当に 54 本のガラス固化体の製造実績を有する 1 号及び日本円の運転方法。
0:08:14	具体的には白金族元素の沈降堆積を抑制し、発見後検査をですね、法律的に雑ために、実績のある文献等を、こういった運用方法をベースといたしまして、試験を行って、
0:08:28	着実にガラス固化処理を進めるという観点から、産業における最適な管理費用、運転パラメータ皆様のデータ取得、また白金族元素のですね、むき出しへの確認。
0:08:40	嘘の手当の確認をですね、本試験の目的とするということで、ここを踏まえて具体的な目的を(1)から(5)に示すという、いうこと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:50	という記載といたしました。下の管理制度運転パラメータのですねちょっと定義もまことにさせるためにちょっと書かせていただいたんですが、管理質問に関しましては、窓レイアウト上の事項を判断するですね、電極間の抵抗値や、
0:09:07	流体操作をですね、可能と判断するための流下ノズルの温度等、運転管理の判断条件ということで、運転業績が固定値としてですね、扱うものを、
0:09:20	とをしております、一般運転パラメーターというのは、岡沢さん緑藻権藤設定の範囲、管理指導に訂正するための主電極電力や、
0:09:30	新曲上客企業任せで、
0:09:34	いや市の協力、契約日を、あと、ガラス流下速度をですね、所定の範囲、管理資料に調整するための流下ノズルの加熱電力等、調整ここ、このようにですね、調整運転中、状況に合わせて調整する調整可能な設定値、これを運転パラメーターという。
0:09:53	をしております。で、あと(1)(5)もですね、議題に関しましても前科いいわ。
0:10:04	当方といたしまして(3)番のガラス流下による白金族元素の抜き出し性を、の人生をですね、水の優位性を確認するということが重要だということで、こっちに持ってきておりましたが、
0:10:17	今回ちょっと主な目的を踏まえまして、(1)にですね、白金族元素の管理事業の見直しに係るデータ取得を大事といたしまして、次に運転パラメータの調整を過去に持ってきております。
0:10:31	そのあとですね、5 ページ目、5 ページ目に示すように、営業課による白金族元素の抜き出し性の比較であと(4)シミュレーションの告示別々の国民等からデータを取得。
0:10:44	(ウ)条例を、同じ手法の対策という、人材の変更の方を行っております。
0:10:53	後のページ一目でございますが、
0:10:58	守田瀬野商人検討抜き出せを比較するためですね、背景といたしましてクリンウエス等を行ったというところで、前回ご説明させていただきましたが、悪人模型試験、比較するとですね水門模型それぞれ、
0:11:13	合併試験を行っているので、この辺の違いがわかるような写真とか一なのかといったご質問がございまして、これを踏まえてですね、右側の中段のところですが、
0:11:25	このスタッフ伊東用水、上面から見たところ側面から見た時の流れの腰痛ですね写真で示しております。具体的な資格数に関しましては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	永年性能を高いのがこのマウス、公明のを、
0:11:45	世古委員は御のところも安全性が低い、イコールということなんですが資格制度は流れが遅い部分また2部のところ、あかん、赤の点線の丸で囲ったところですね。
0:11:56	こういったところろうがですね、透明性の高いところが
0:12:03	そういう部分と、あとその青い部分。
0:12:07	その辺、斜面のところはですね、納品は多分斜面のところに関しては長原しというところが
0:12:19	もう存在したというところに関しに対しまして、塩水ではですね、全体的にですね、長年に関しては均等に、
0:12:30	均等に分布したといったところが確認されたというところを示しております。
0:12:38	その他7ページ目に、市、浦邊田尾ですね、具体的に住宅を確認するのかということでこういう項目、まず(1)の本資料の見直しに係るデータ取得に関して順次本当特に変更はないんですが。
0:12:55	8ページ目ですね、実際管理費等をどういうふうに見直すのかといったところをどういうふうに考えていることを考えているのかといったところを前回ちょっとご質問を受けたところもございましたので、
0:13:08	機構としてですね、管理税の見直しに関してイメージしているところ、それを8ページ目図で表しております。
0:13:18	これまでの運転に関しましては、医療保護待ち電極が損傷防止のため自然局間の補正経過がですね、管理権まで低下したタイミング。
0:13:31	下のグラフでいうところですね、青野を生んで書いてあります③のところ、これが主電極間抵抗が経過したところで、経過管理指標まで低下したタイミングでどの後に移行していたというところもございますが、
0:13:48	年全局近傍のご提起斜面上部にですね、白金族元素多く堆積したくなるためには、主電極管理がですね、予定外の中で始める日まで、白金族元素が
0:14:00	大勢堆積したことを検知し、松宮金戸レイアウトに移行する必要があるということで、これを踏まえて新たな管理指導といたしましては、主電極間連携がですね、予定側に流れ始めるタイミングといたしまして、
0:14:16	炉底懸案に移行する時間が長くなるタイミング、この一番下のグラフの一番下の赤の線ですね、これが②のところから、
0:14:27	冒頭の方にご提案点合計時間が長くなってるんですがこのタイミング。
0:14:34	が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:36	どの後に移行するという、すれば、改善が図れるというふうに考えているところでございます。
0:14:45	9 ページ目でございますが、確認項目として運転パラメーター要請ということで、当然かいいの大木さんに対しまして、もうちょっと具体的にですね、赤尾野中管理仕様といったものをどういったもの、どういった管理指導があって、
0:15:04	それに対してですね、データ運転た、それぞれに対して状態のパラメータを調整していくのかといったところ、それをちょっと今回具体的に示させていただきますし、説明させていただきました。
0:15:18	定年試験におきましてはこの赤字で書かれたような、
0:15:25	このA3 の資料に対して、調整を行っていくというところございまして、これで県民意識の中でですね、運転条件を確立した上で、今後の知見を仰いで示したところですね。
0:15:37	購入試験と同じ条件について、試験を行い、白金族元素の抜き出し性を確認していくといった流れと思っております。
0:15:48	10 ページ目ですね、これをちょっと補足するように各管理指導、ガラスの温度や電極の温度国籍等を示したもので、
0:15:58	ございますということについて説明を受けさせていただきました。
0:16:05	あと 11 ページ目がですね、ガラス流体による白金族浅井抜き出しへの比較ということで、
0:16:13	伝えておりまして、文章の方は特に変更ございませんが 12 ページ目ですね、具体的にですね、本右田清の優位性をですね、確認するのcaとといったところを、ちょっと定量的な評価というところは難しいところ。
0:16:29	ございますが形成的に何をどういうふうに確保するのかといったところを、12 ページ、13 ページ目が違って、施策を説明しております。12 ページ目のですね、上段のところ、JAの円筒における金属検査のですね、流下によってどういうふうに抜き出せてるのかというところをイメージしたものでございます。
0:16:49	で、一番①のところですね合計点運転中におきましては、贈呈提案点平均の上のところですね、健全決算濃度の高いところがまとまっているところ。
0:16:59	8 日前にですね②となりますが 5 で加熱を行うことで、予定日の名声から 3 年生が低くなって発見されたところが下まで降りてくる。これで流行行行行ったところですね、
0:17:14	行うことで、計算面付近のですね会社がほとんど抜き出せるというところがあったイメージが③のずっととなります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:24	で、これを踏まえまして 12 ページ目の下のグラフとなりますが、部課中の床から新のですね、金属乾燥マーケティングの抜き出し、濃度。
0:17:39	次を示したものでございまして、どう整理、
0:17:45	上の図を踏まえまして全員が、これは 2 号炉の作動試験の圧力保険一発抜き出しの実績を示したものでございまして上の図を踏まえまして、
0:17:55	流下の前半ですね、高い農業の、
0:17:59	萩尾鳥羽さんのもたらず高いほどの大庭菅大貫出されていたところで作業員がですね、濁流模型試験等の結果を踏まえまして、稲毛リフォーム項目の 8 件全部休む喜田支店、湯田崎田遺跡のではないかと考えているところでございます。
0:18:15	あと 13 ページ目ですね、これもミドルの作動試験の時の発見できます。まずサンプリングモードの。
0:18:28	次いでサーモグラフィ分でございます、
0:18:35	これもですね、前回ちょっと補足資料でつけさせていただいてますが、2 号炉の作動試験例は、抜き出しにおきましては、
0:18:45	80%から 100%わかるんではばらつきが見えたというところでこれがとは、黒野河内君のですね。
0:18:55	結果を踏まえると、3 号も今回の運転状況の確認試験では、より安定した持ち出し率が期待できるのではないかと考えているところで申し上げます。
0:19:09	あと 14 ページ名ですね町村選択については、これに関しては変更を議題の 4 ページ目ということについてでございます。
0:19:20	あと 16 ページが営業部大隈部長の対策に関しても、変更ございません。17 ページ以降ですね、試験スケジュール具志堅福井支店体制もちゃんとの変更はございません。
0:19:33	あと 21 ページの以降ですね、資料本体の説明ちょっと補足するために参考資料ということをつけさせていただいております。
0:19:43	22 ページ目はですね、産業構想にあたって今後の構造教育に選定したところということで、基本的な考え方をですね、単ページ資料資料 1 ということで、3 ページ目にわたって占めております。
0:19:57	具体的にはこの色をコンセプトとしては
0:20:04	運転運転実績のある間にメールを大野構造から前の変更は行わないということで 23 ページ目の丸印等に、
0:20:14	否定的等によると、同じ同じ運転管理方法とするというようなところ、こういったところを行いつつ、可能な限りですね、ウエノ性能向上を図るため産業部側で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:27	は、23 ページの③に示す通り、発見下先ほど%木崎の向上が期待できる構造とする、また④運営において確認された事務次長の対策を反映するといったところをまとめたところを踏まえて3号のような設計を行ったところでございます。
0:20:45	間宮っていうのはそういったところを踏まえてですね、
0:20:50	炉底形状を比較するからウェスティング変更した分、ここの方、
0:20:56	25 ページはですね、保険国分層のパーキングを体積抑制するための孫て提案権についても、これまでも、
0:21:06	他事業への可能性の中で示させていただいて同じものでございますがご兄弟案件についての説明資料を右のページ、26 ページ目に移らせていただいております。
0:21:18	27 ページ目の、しましては、ちょっと管理指導の見直しのところにですね、
0:21:26	友田保健副課長の田井関井とですね、
0:21:31	電報関係の評価とかそれぞれの相関性ということで、前回の面談の中でちょっとご質問を受けたところもございまして、そういったところですね、どういった相関性があるかということについて整理したものでございます。
0:21:44	ここにですね、
0:21:48	商人相撲堆積の高さに応じて電極がどう変わる、原告の抵抗値等を超えるかといった解析を行っておりまして、この左の、
0:21:59	をですね、
0:22:01	左下のグラフに示す等に堆積物の高さに応じて、電極間の抵抗が下がっていくんですけどまず補助電極間の抵抗値がまず触って、
0:22:12	この高久秋月を食うも近づくにつれて、主電極間傾向値が下がってくるといったそういった傾向が見られて
0:22:23	おりましてこれを踏まえて実際の
0:22:26	大河内変化を踏まえると、野地さんの方の中でもですね、このように、下の方からですね徐々にたまってきたといったところは推定できるといったものでございます。
0:22:39	28 ページ目からですね、国前回補足ということですよ。示させていただきましたが、ちょっと参考制度を報告するというところでちょっと混乱すると。
0:22:50	5 項目ということで、一括してちょっと参考資料ということで、つけさせていただきました。今回は遠藤勝見支店でラベルもしていたところがあるということのイメージを示したものでございまして、
0:23:04	58 ページ目から 30、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:08	2 ページ目はですね、業界の補足資料として説明させていただいた。
0:23:14	ペーパーを央戸の方の資料として添付してございます。
0:23:21	振興課方の説明に関しては以上でございます。
0:23:29	長嶋です。そうしましたら、資料 1 について質問等ありましたらお願いいたします。
0:23:59	越智課長の島です。60 ページの運転パラメータの調整の表の案の見方なんですけれども、
0:24:09	これは管理指標、例えば、煙は井口経営の具志堅ですと、学者温度が 0 ± 50 度っていう、
0:24:21	ところに合わせるために、主、主電極電力がどのぐらいになるのかとか、冷却空気の流路をどのぐらいにすればいいのかっていうところを詰めるということで、そういったイメージでよろしいんですよね。
0:24:36	はい、大蔵でございます。はい。そういったご理解で間違いございません。わかりましたありがとうございます。
0:25:14	規制庁をしまうですけれども、参考資料の 27 ページに、過去の試験データで、この堆積高さや電極間の抵抗がどうなるっていう地形は
0:25:30	取られていって、赤の、
0:25:35	プロットで、補助電極間抵抗が巻き込んでいきなり下がってあとは、なかなか 2 行、
0:25:44	直していくっていうような傾向を言われてますけど、これとその 8 ページにある。
0:25:51	実際の認定で見られた水位を比べると、同じく補助電極間抵抗ってこの緑のラインのことでいいんですね。ただ、
0:26:02	大体沈めるですよ。多分、傾向としては、
0:26:08	はい。小高でございます。そうですねこちらちょっと解析がちょっと短いもう終わった解析ですので、ちょっと形状的にですねちょっとインダタるのはあまり困難でございますが定性的に、まず補助電極間抵抗値が下がって、
0:26:25	まず、次にすでに指導教官抵抗が下がっていくといった傾向に関しては
0:26:31	時期も同様の傾向が見られているといったところが確認されております。
0:26:40	ありがとうございます。
0:26:55	そういう強調しますけどそうすると結構もう、
0:26:59	細段階で、
0:27:02	結構水素濃度電極間抵抗に呼吸ちゃうってことなんで、影響が出てきちゃうってことなんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:08	報告でございます。運転の順調に進めばまずそうですが白金族検層をまず、予定分から徐々にまた変わっていくといった抵抗になるというふうに思いますので、小石松町矢田部分に使う貢献ドッカーンの、通電通電がですね。
0:27:26	一番影響を受けやすいというところでまず最初に定めていったところになると考えております。これがちょうどですね大崎の経験は今回
0:27:37	そうしたことでどのようになるかというところを今回の運転前確認試験ですね、今後産業用の実は運転を通して、そういった傾向を確認していきたいと思います。
0:27:49	まとめていった上で、漢字を見なおしていきたいと考えているところでございます。
0:27:55	はい、承知いたしましたありがとうございます。
0:28:03	庄田それから13ページの抜き出し李通なんですけど。
0:28:10	これ100%超えてしまってる理由点、どういった理由でしたっけ。
0:28:16	平衡中でございます。そうですねこれに関して、100%超えてるとするのは実際にその点とその縁、その
0:28:27	二つにおいて入れたもん。供給したものを供給した金属元整備も、
0:28:34	それよりも多く抜き出しているといったところでございます、こういう、これに関してはその前の×でですね抜き出し率が悪くて、結局、十分に抜き出せなかったものが次のバッチで、
0:28:49	多く抜き出している。そういったところでこういったその100%を超えてしまったりとか、そういったばらつきが発生しているものでございます。
0:28:59	規制庁鳴です。炉の丹羽興産バッチ分校は入ると思うんですけど。
0:29:05	好条件でいこ3バッチ分入れて、1番地抜き出した、そのデータを積み重ね、そのデータを示されてるんですかね。それとも、
0:29:15	のに1バッチ分入れて、抜き出して一番深い抜き出してっていう、そういった試験をやられたんでしょうか。
0:29:22	操作5年の保有量としては、今後議会の通り
0:29:29	通常は最低で2×分のガラス固化体2本分入ってまして、そこからまた供給を統計して、3番目、三本とに到達したところで、一般部門の離脱。
0:29:43	そうするとまた2本分なりで日本加算分を水ながら、
0:29:50	ガラスの一面が変動するといったものでございまして、具体的T2は参考資料のですね。
0:30:03	26ページ目にさせていただければわかるかと思うんですが。
0:30:11	それと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:13	目的のところですね、自然局状態のところが大体からそこ片野本文あたりいいところで
0:30:21	ございまして、
0:30:23	ここが龍ヶ野間市が議会の状態でそこから1点追加する。
0:30:30	三本目まで到達したところで、また一般に行って
0:30:34	流下するとまた①のところの、
0:30:38	一面に戻るといったそういった流れとなっております。
0:30:46	わかりました。規制庁嶋です。
0:30:51	はい。
0:30:56	いずれにしても、この中には、その複数町も入ってるんで、
0:31:04	そういう意味で抜き出し率が100%を超えてしまうっていう、前野町のものが残ってるっていう影響もあるんでしょうけど、そもそも、どの中には、
0:31:14	そんな一部入ってるっていうところも、
0:31:17	これ行きだし率が100%を超えてしまうっていうような、その可能性の一つとして考えられるってことなんですかね。
0:31:26	方が数としては、そうですねバランス後退三本入っているというところもございまして、ケース0%を超えてしまうところを超えてしまわないところというところが、ばらつきがあるウエノの。
0:31:42	では出てきたといったところでちょっと見ます。
0:31:47	ありましてありがとうございます。
0:32:07	確認したいんですけど。
0:32:17	はい。規制庁の真田です。資料もわかりやすくまとめていただいて、内容と線を理解が深まったところで、次の感知会合としてのそれはもう大体こんな感じで。
0:32:32	特に改定はされない。
0:32:36	感じなのかなと思ったんでその理解で大丈夫ですかね。
0:32:40	機構としても今回の試験の計画としての考えについては数字の資料に示す通り、
0:32:50	はい、ありがとうございます。ちょっと1点、基本的なことで確認したかったですけど。
0:32:58	は、8ページ目。
0:33:01	8ページ目の管理費表の話で、前回ヒアリングでこの試験のポイントとして、どういったものがあるのか、っていう話の中で、管理指標の見直しているのか、もう重要ですよっていう話があったと認識してます。
0:33:21	ちょっと確認したかったのがこの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:24	今まではこの③、
0:33:27	主電極間補正抵抗が、2号溶融炉棟だと。
0:33:35	約995と1町ぐらい。
0:33:40	低下して、管理指標にタッチ可能で、ドレーンアウトしたっていうことだったんだけど、それよりももうちょっと前の段階で、
0:33:52	どれアウトする。
0:33:55	ていう判断ができないかっていうことで、
0:33:58	パラメーターを見直したところ、
0:34:01	この②、
0:34:03	大体78位で、
0:34:06	炉底低温運転に移行する時間が長くなるタイミングっていうのが、
0:34:12	考えられそうだと。その時間をちょっととどんどん数字にするのかっていうのはちょっと今後、調整なのかもしれないんですけど、指標として、
0:34:21	そういったものが考えられそうですね、理解したんですけど、結局、今回
0:34:32	模擬廃液を使った試験っていうのは大体8バッチぐらいまでなので、要はこの
0:34:41	この丸井の6時。
0:34:43	70バッチぐらいで、
0:34:46	管理小に達するっていうところまでには当然いかないもんですからあんまり今回の試験っていうのは、
0:34:53	管理指標の見直してという点で言うと、あんまり関係してなくて、管理表の見直しCについてはもう、2号溶融炉の、
0:35:06	運転でもう大体決着がついていて、
0:35:12	従って今回の実験何かその管理小の見直しに資するようなものがあるかっていうとあんまりないんじゃないかと思ったんですけど。
0:35:23	その認識で正しいんでしょうか。
0:35:28	報告でございます。はい。ご指摘の点、今回初バツしか行わないというところなので、菅管理者の藤。
0:35:38	見直すつうところを決めるところまでいけるかという、
0:35:44	初期の段階しかわからないというところにはなるんですが、今回2行とか考えよう、ご経験をですね肅正から延性に変えたことで、この辺の
0:35:57	図書キーの抵抗値だとか予定提案権の移行時間とか、この辺もともと米数、運転開始した、解釈のですねベースになるところがどういうふうに変わってくるかといったところ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:10	そういったデータが取れるものと考えております。はい。これは三階までをですね導入して店頭公開するにあたって 07003 と鹿又委員。タイミングがですね、平成にしたことも、
0:36:25	もうちょっと抜き出しが良くなって、60 分で丸が丸のところに来たところの山根が来たところがもう少し、78 分のところまでいくんではないかとか、そういったところですね。
0:36:41	データ今後 3 ウエノ運転の中でもデータを取得していきたいというふうに考えているところでございます。
0:36:50	それを踏まえて、見直しいきたいと考えております規制庁さんがですね。
0:36:55	なので
0:36:58	管理所の見直しの件は 2 号溶融炉の、
0:37:02	運転の状況を踏まえて大体目星みたいのはついてるんだけど。
0:37:07	1 番地から 8 バッチを動かして、大体同じような強度を示すのかっていうのは、まず見て、
0:37:17	大きく違いがあればちょっと管理指標の見直しにもはねるのかもしれないんですけど。
0:37:23	まず一番力 8 バッチの。
0:37:27	パラメーターと同じ挙動を示すとかを、
0:37:30	まず確認して、実際には 3 号用流路をまた動かすわけだからその中で、
0:37:39	管理指標は多分この、
0:37:41	肥後溶融炉の運転に伴って設定した管理小で、
0:37:47	動かして、またドレンアウトと産業力ややると思うんですけど、その中で見直しているのかなと思いました。
0:37:56	あとはその 19 ページ目で、
0:37:59	運転パラメーターの調整でまさにこれは、労務形状とか変わったもんですから、
0:38:10	パラメーターをとって、それと管理指標との関係。
0:38:15	変えるのかはないのかみたいなまさにこの模擬試験で確認ができるっていうことなんでしょうか。
0:38:24	保坂でございます。はい。そのようなご認識で間違いございません。今回の点検確認試験の中でですね、河西CTOに対してはその運転パラメーターの、
0:38:36	拠点班員というところですね、定年試験者は千葉 8 本分で、年間の二名の作動試験も踏まえると十分に確認できるものと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:50	ありがとうございました。
0:39:02	おはようございます。
0:39:09	よろしいですか。
0:39:11	続いて資料 2 の説明の方をお願いいたします。
0:39:17	曾田資料に校正線源の進捗状況について、継承機構の中村の方から報告させていただきます。続いて、まず概要の方ですけれども、なお二つございます。一つ目ですけれども、報告対象施設及び精製工場等の一部の機器に残存する核燃料物質を取り出す降水量を、
0:39:35	昭和 2 年度から午後にかけて行う工程であり、これまでに説明路線粉末の取り出しを終了している。
0:39:43	その後大手の分溶液及びその他の尖閣燃料物質の取り出しを令和 5 年 3 月 20 日から開始し、5 月末、
0:39:52	には終了する見込みである。
0:39:54	二つ目ですけれども、不利益等とりあえず終了後はウラン溶液うん溶液粉末の取り出しを令和 5 年 12 月から開始する予定であり、その準備として 7 月末には設備点検を
0:40:06	8 月からは、運営を実施中であると。
0:40:09	ペーパーか斜交プリズムとして、
0:40:13	クリタ面に大きな集約、ウラン粉末道しかグランド消灯や、蒸発缶類の管理操作を含めた訓練等の準備作業を 11 月までに終了させて、
0:40:22	例えば計画であるとしております。続いて、次のページ 34 ページ目に
0:40:27	ご覧ください。こちら大きく甲谷植木の権限を運営距離だということで二つ項目を申し上げます。磯辺鳥山をご説明いたします。まず一つ目 A の取り出しなんですけれども。
0:40:39	こちらの方は先ほど申しました量 5 年 3 月 20 日から開始しており、5 月 15 日に発生した循環ポンプの真空度不足による復旧対応により、約 4 週間遅れが生じたものを、9 月末 2 月を終了する見込みであるということ、
0:40:55	別のページ 11 図について北口の方行っています。
0:41:00	次のページ見ていただきます。真ん中辺に、甲斐君の方で、低濃度プルトニウム溶液の取り出し対象範囲ということで今回、
0:41:10	工程洗浄を実施しております範囲を示してございます。右下にございます低濃度プルトニウム溶液と緑色のハッチングで示してございます。沼尾社長の方から矢印をとりまして、
0:41:22	左側の流下工程に持ってってそこ、そこから交流の廃校放射性廃液側に持っていくということで質問は示してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:30	また、それ以外にも、窪赤池の方の中に、少し小さい青い矢印で示しておりますその他の核燃料物質ということで、中間貯槽に 52 とかに 60V 12 とかそういったところも洗浄していきます。
0:41:44	続いて、次のページ。
0:41:46	なります。図の方ですけどもこれはプレート日程のプルトニウム溶液の取り出しに関わるところを拡大したものです。
0:41:54	拡大した機器として機器の方を右上に示してございます。左側の方から左下にございますけ、プルトニウム製品貯槽、①番ですね、こちらの方から右側の方に持っていくと、最終的に火飯野橋の方にあります高放射性廃液貯槽まで持っていくと。
0:42:10	いう形となりますまた、②番のプルトニウム濃縮工程、そちらも教授にこの矢印の通り気を用いて、文案を開いて持ってきます。大江新沼大橋。
0:42:23	ハッチングの部分が高放射性廃液としての処理、また、真ん中にあります青いハッチングですねこれ江崎、先ほど話しましたその他の洗浄液ということで、流下調整二つから
0:42:36	浦野他の安井駅なんですけどこちらを値切る処理場の方に持っていく低レベル放射性廃液での処理ということで、こちらの方を現在実施、これから実施する予定にしております。
0:42:48	続いて、30、
0:42:55	7 ページ目ですね、表 1 に工程洗浄の実績等を予定として書いてございます。
0:43:00	こちらの方工認、今回の取り出しに関わる実績を超える同発注で示しております。また、こちら 8 月 23 日、本日現在が実績になっておりますけど、昨日現在の実績となっておりますけども、
0:43:14	今回の監視チーム会合の資料提出時に合わせて、そこまでの実績を入れて、それ以降は今後の予定ということで示したいと思っております。ご覧になっていただきますと、
0:43:26	5 月 15 日に発生した再掲との真空度分低下対応ということで 5 月中旬から 6 月の下旬まで矢印を引っ張っておりますが、この機械を保守費用として
0:43:39	現場の際にはなかったという、
0:43:41	こちらは大体 5 週間程度の期間の方を開いております。また、それと 9 月のちょっと図示して図示しておりませんが 9 月の、
0:43:51	月上旬に 1 週間程度、こちらの委員会警報装置の定期点検ということで 1 週間程度この作業法休ませ、休ませさせていただいております。それで都合 6 週間の遅れとずつトータルとして遅れとなることとなります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:05	この前言いますと9月の下旬には、最後の部分に第2サイクル、その他の洗浄液の大瀬新城を含めて9月末に終わる予定となっております。
0:44:19	経営本部も止めさせていただきまして、
0:44:22	二つ目の意見等の二つの山田になりますけども、工程洗浄はちょっと、ありがとうございます。今、その他の洗浄、
0:44:32	工程洗浄や硝酸の容量施設選挙によってプルトニウム保有する機器とその他の洗浄液を保有した機器の、
0:44:38	機器及び排水経路の機器のウランプルトニウム濃度が基準値以下であることをもって終了判断していると。これまでに現在までに洗浄した計器、8月23日現在、こちらの数字に見直させていただきますけども、
0:44:53	現在でも約7割を終了しております。こちらについてはすべて基準値以下であり、集中に進んでおります。こちらの方は、
0:45:01	実績としまして、
0:45:03	新居さんの方ですね。
0:45:06	こちらに、
0:45:07	藤参事。
0:45:10	38ページ目でございます。下側に表で進捗状況の中で、具体的な数字と分析結果とを入れております。
0:45:21	以上3中身見ていただきますと、ウエノを、鳥海濃縮工程と乳製品工程洗浄工程で、日比久野朴木というプルトニウム精製工程の方を現在終わっております約7割が終了しております、数字を見てこい。
0:45:37	いろいろありませんけれども、欄にございます工程洗浄終了の判断基準U1グラムパーリッタープルトニウム10ミリグラムパーリッター以下であることを、現在そこまで確認してございます。
0:45:48	8号なってる部分がまだ終わってないところで
0:45:54	定数値まで終了した値をここに記載したいと思っております。また、右の方には具体的に
0:46:02	分析資料ですね3ページをとった時の色、色で間違いがわかるようにということで、可視化してございますけども、これはボトリング濃度3グラムプリアした時の色のはず。
0:46:14	若干の配慮をしておりますけどもこれが扇状には、約4ミリグラムパーリッター当たり薄い証明となっておりますこのように、
0:46:24	目視でも作っていることが管理できているという状況になります。
0:46:33	はい。肥田。今後ちょっと詰めています。
0:46:37	一つ目のU駅の取り出しの方でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:41	若菜が四つございます。一つ目は、ウラン溶液の取り出しを令和5年12月から開始する予定でありその準備として7月末には説明し案件を8月から教育の実施中であると。
0:46:52	二つ目、今後対象工程の準備作業として、普通は運用の集約対象当期同様のウラン粉末移し替えを行うとともに、本年として選んだショートや蒸発缶の加熱操作を行う予定であり、
0:47:04	熟練者及び経験者の指導のもと安全に留意し、11月までに終了させる計画であるということで、
0:47:13	図4の方になります。
0:47:18	39ページ目をご覧ください。
0:47:22	こちらに詳細の方、記載してございます。
0:47:25	下の方に工程図を示してございます。四角で囲っている部分が問い合わせは、主なウラン溶液等ということです。
0:47:35	副町長さんから、こちらに、現在、ウランもしくは粉末ございますのでこういうふうにします。
0:47:41	水広島内容の流れということです。準備状況としましては、先ほど話しましたけども、
0:47:50	配管バルブ類の外観決算及び作動検査等の単体での設備点検はすべて7月、7月までに終了してございます。
0:47:58	教育訓練、単体試験ができなかった対象というふ操作実際に水を流してあるものが、蒸発タイム管理操作はこれから8月から実施しております11月までに、終了させる予定になっております。
0:48:12	また、上地議員の言う市町村をこちらの運用の省略というのは、すでにやっております10月までに監査終了させる予定になっております。
0:48:22	こちら夏目ですけども、メンプラント保管する対象等の起動ウラン粉末押し替えは、5年9月に実施泉で行う、これは9月早々に実施する予定しておりますので、実施済みという形にさせていただいております。これは、
0:48:37	次の方でいただき、見ていただきますと、四角の二つの病院精製工場の資格等、建物の中に、右上の方の四角上がり四角で木戸浦船津でございます。
0:48:48	宇井精製工場にも、ウラン圧勝というのは1機がございますけども、その1企業のウラン粉末になります。こちらの方は廃止措置計画の中で、使わないということをしておりますので対象の方は記載してございませんけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:01	これを右側の方ご覧脱臭施設に持ってきまして、グランパス施設用の参加が要求移し替えた移し替えた上で座礁等での訓練操作に使用いたして、また、笹倉松本です。
0:49:14	ということで、そういったこのように使用し、します。
0:49:19	永松校長の柘植ですけども、ウラン溶液の取り出しは、10月から令和6年1月で実施質問をお出し扇状1月から2月にかけてを実施する予定ということでございます。
0:49:31	ウラン関係の開始、問い合わせの予定を規定してございますまた右の方には写真、教育面の状況ということで進めさせていただきます。示しております。
0:49:43	飛びましてまた本部の方戻らせていただきます。
0:49:46	今後は兵頭吉野大山の三つ目でございますけども、フライヤーの取出しに係る想定教育不具合事象、特にウラン場所等につきましては踏まらずという、対策の中に、
0:49:58	いう所、ウランを溶液を流す農政があるんですけどそれがよく詰まるということで、こちらについては、他省庁の文化整備等の方式の下着で行うことで、作業の習熟度を補助向上させ、速やかに対応できるようにする。
0:50:10	幅の四つ目ですけども、不安要因の取り出しは中立のバックアップ体制を確保し、タイムリーで上限S設備で行うことで、保証書の安定運営を図り、令和5年ぐらい、年度内に終了する予定であるということで、
0:50:24	約18年度の保守、操作となりますので、町会社少なくなっておりますのでそういうことを、指導をちゃんとして、宿命を受けます。
0:50:36	鋭意進めているところであります。
0:50:39	こちらの方をスポーツセンター進捗状況としてご説明したいと思っております。報告は以上となります。
0:50:49	はい。規制庁嶋です。資料2の説明に対しまして、質疑事項等ありましたらお願いいたします。
0:51:13	加来菅野澤ですけどもよろしいでしょうか。
0:51:16	はい。お願いいたします。
0:51:19	資料の
0:51:24	2ページ、三中全体の34ページから2ページに記載されているウラン溶液の取り出しで、
0:51:33	処理する乱用二つまで二つ目の矢羽で処理するウラン溶液の集約って書いているのは、
0:51:42	後のその図でいう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:46	14、
0:51:47	7 ページ、全体で 39 ページの図の 4 で、
0:51:52	四角いで囲われている貯槽に、まずもってくつていうことを言われてるんですか。
0:52:00	研修機構の中間です。所長、別のごめんなさい。
0:52:08	14 ですねこの四角のうち、できるだけ
0:52:15	津波の取り出し期間の場所のための準備作業として一番左側の四角の取りとり景観施設の詳細浦野貯槽とか、アドビ生成工場の中古等、
0:52:26	新野一井社長とか、持っていけるものはもう準備。
0:52:29	対応として、この下から三つ目のウラン仮称施設DN施設の利用に貯槽に集約して
0:52:37	効率的にいざ、短期間で処理費処理できるようにしようということで、この四角のまとめですを、グランド施設の大きな事務次長層というところに集約することを考えており、を実施することを考えております。
0:52:56	加来菅野澤です。
0:52:58	それは、
0:53:02	工程上は特段の、溶液の集約っていうところは見えてきて、
0:53:11	工程上記載はされてませんけれども、
0:53:18	農業にどれぐらいに終わる予定なんですかその集約というのは、
0:53:28	ページの説明の中にも特段記載されてないですよ。だからこれは 10、
0:53:34	教育訓練は 11 月だから、それまでの間が終わるっていうスタイルこうなんですかね。はい。ページ 39 ページ目の 14 名、4 方に。
0:53:44	準備状況等ということで、こちら三つ目に書いてございますけども、故貯槽類 32 億 3034 駅の集約は、10 月までに終わらせるということで今現在考えております。
0:53:56	現在、中で、
0:53:59	あん了解ですわかりました。
0:54:11	助教に加来村井。
0:54:16	戸澤です確認以上です。ありがとうございます。
0:55:11	なかったら、どんどん、
0:55:15	ちょっと規制庁オオシマですみません、プルトニウムの取り出しの状況なんですけれども、一応 9 月末、
0:55:23	までには今のところ終わりそうな予定ということなんですけれども、
0:55:31	38 ページの形成異常終了の判断。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:37	こっちでっていうのもあると思うんですけど、この、
0:55:41	この状況がまだ扇状中というところがあるんですけどこの終了になるのがその9月末ということなんでしょうか。
0:55:55	すいません
0:55:57	9月末では、どこまでちょっとですけど、聞き取れなかった部分なんでもう一度お願いできますでしょうか。
0:56:07	37ページに、
0:56:10	出席の予定ってことで、
0:56:13	一番最後が分離大に対する構造で、
0:56:20	この9月20、洗浄が終われば、終了するっていうことと理解してます。で、この38ページに、
0:56:32	工程洗浄終了の判断基準というのもあって、ナカノ扇状中というところもあるんですけど、この9月末に、ここの判断基準が、
0:56:45	ウラントリウム企業ありますけど、これを全部クリアして、9月末に、
0:56:55	停船プロトピックとの工程洗浄が完了するっていう、ここまで、この基準、
0:57:02	その確認までを、7月末に終わらせるっていうことでよろしいんでしょうか。
0:57:10	今後の作業になりますけれども、今の予定ですと、そのまま終わるんですけどもまだそういう地層た最後の高レベル廃液貯槽への送液槽車。
0:57:20	宮崎委員。ぎりぎりまでかかってしまうのと、あと、この
0:57:27	ここで表で言いますと13の表5、その他の核燃料物質の大堀大臣桜木先生工程が、37ページ目のスケジュール示す通りぎりぎりまで変わってまいりますので分析結果がちょっと間に合うかどうかという、
0:57:41	現場作業、救命のところは8日間で終わる予定なんですけども、分析結果が出るかどうかという、ちょっと微妙なところとして、線源終盤産業というのは、
0:57:52	二つぐらいで済むかどうかちょっと微妙なところになり、作業そのものは終わると伺います。編集局風間です。以上です。
0:58:02	はい。規制庁の嶋です。
0:58:05	どっかで言いました。
0:58:07	結果は9月末までには待てない。
0:58:12	新谷先生もしれないってことですね。
0:58:18	わかりました。はい、ありがとうございます。
0:58:31	その他あります、ございますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:41	資料 3 の説明お願いいたします。
0:58:45	職長の小野です。平成 2、2、22 日の火曜日にご説明させていただきました。5 月 31 日に申請させていただきました廃棄物計画変更認可申請書、こちらについての記載の考え方について取りまとめた資料について、
0:59:02	面談でのコメントを踏まえて記載の方見直させていただきましたのでご報告させていただきます。変わった部分を中心にご報告させていただきます。
0:59:12	2 ポツの①になります。申請書における耐震評価の記載についてということでこちらの記載なんですけども、ちょっと前回の面談においてですね、耐震評価の結果の記載の仕方についてちょっとご議論をいたしてしまいましたので、
0:59:28	そこを改めて整理させていただいて全体の整理として書かせていただいております。
0:59:33	記載の方に、読み上げますと再処理施設の廃止措置計画の認可以降です、申請書に記載する耐震評価については、設備の各部分の機能に応じた耐震分類を踏まえて耐震設計の方針と、
0:59:48	耐震評価の結果、または耐震設計の方針のみを記載している。このうちですね、耐震分類C類に関しては、原則として耐震評価の結果を記載せずに耐震設計の方針のみを記載しているということで整理させていただいております。
1:00:06	以降耐震に関わる記載についても同様のような整理をさせていただいて記載させていただいております。
1:00:12	続いて②番の片括弧 1 のところになります。2 パラ目になります。改造範囲である止水弁を含むセルケイバク等については、
1:00:23	耐震分類Bとして耐震設計の方針と、耐震評価の経過を記載しているということで、改めて記載させていただいております。続いてその下のパブカーグラフで、一方というところで計装用アップ配管現場操作盤についてですけども。
1:00:39	こちらについてはこの第 6 条の当該条項には該当しないということで記載を改めさせていただいております。
1:00:48	続いて片括弧 2 の方は特に変更がなくて③の方に行っています。
1:00:54	一般費をさせていただきます、③の片括弧 1 になります。次のページです。技術上の基準第 6 条の地震による損傷の防止についてということでパラグラフの 2 番目になります。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:06	空気圧縮機空気圧縮や圧縮空気配管については、耐震分類B類として、耐震設計の方針と、他、明日、耐震化、
1:01:17	耐震評価の結果を記載しているということで追記させていただいております。続いて(2)のところになります。16条の安全機能を有する施設についての記載です。
1:01:28	こちらについてはパラグラフの3行目の中段中頃以降になりますけども、空気圧縮機を運転することにより、複配管及び冷水配管を含めた機能を確認することができるため、
1:01:44	空気圧縮機の運転について記載しているということで安全機能に関する、記載を補足させていただきました。
1:01:51	続いて④のFLIPを回収技術開発施設における空気圧縮機の制御系の改造についてです。こちらについてはパプロフパパ小一井のところになります。
1:02:04	2パラ目になります。圧縮空気及び冷却水系等は耐震分類C類として設計を行っており、既設の圧縮空気及び冷却水系統の変更。
1:02:16	設計の変更を伴うことから、耐震設計の方針を記載していると。
1:02:22	自動切替の制御盤については自動切替機能を申請対象外としているものの、
1:02:29	投棄屋敷の起動停止。
1:02:32	自動弁の開閉を手動で行える機能、手動操作機能と、
1:02:37	記載しておりますがこちらについてはこちらを有する設備であることから、設計及び工事の計画の申請対象としているということで整理させていただいています。
1:02:48	それでこの事業切替制御盤についてですけども、耐震分類C類として新たに設置するものであり、自動弁の開閉を手動で行える機能は、
1:02:58	技術上の基準の安全機能を有する施設に該当することから、耐震設計の方針を記載しているということで、詳細を記載させていただきました。
1:03:09	続いて片括弧2のところになります安全機能を有する施設についてということでこちらは2パラ目のところですね、先ほどご説明した手動操作機能、こちらについては、空気圧縮機の試験検査或いは保守作業人類に用いるものであり、
1:03:26	安全機能を有するものであるということで補足させていただきました。
1:03:30	以上が22日のコメントを踏まえた変更点となります。説明は以上です。
1:03:39	規制庁島です。資料3について、確認事項等ありましたらお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:46	木瀬規制庁のです。1点教えてください。先回も説明があったと思うんですけど、積もった施設の耐震の、
1:03:57	基準地震相当というのは、
1:04:02	一次を、
1:04:04	想定して、評価しているということによろしいですか。
1:04:10	原子力機構タグチです。その他の施設につきましては
1:04:16	先ほどん事の、
1:04:20	基準地震動というものを持ってないってことで、はTVF等の既存の施設。
1:04:27	地震動を参考に、1階の部分で、一時相当の地震力というのを想定してあとは高いところにあるものについてはそれぞれの高さでの、
1:04:40	あいあい山とか、すいません、すいません高いところに行けば地震量が高くなるというものを使って、機器の評価をやってるところですか。わかりました。
1:04:53	もっと直球的なねこの止水弁の敗訴設計診療サイトウの地震療休は何なんですかっていうと、
1:05:04	ちょっと聞いたんじゃないですか。
1:05:07	それ一次。
1:05:09	そうですね。一時層ぐらいの話、1回だから一番右が1階面で1時を想定して、高さ方向に分布を考えておって、田沢の1階相当なんで、棟1時。
1:05:26	すいません小規模の話です。
1:05:29	政府機関です。
1:05:32	せろ。
1:05:37	原子力機構の白水です。
1:05:40	こちらの設置エレベーションからしますと1回ですので一体のものを使っています。
1:05:46	はい、わかりました。
1:05:48	これはスラッジ貯蔵場の主棟の改造について、
1:05:57	この評価の範囲なんですが、
1:06:03	申請書上で見ると、
1:06:09	留学とぐが、面積に示されてるんですけど、このスクリュウダクトっていうのは、壁に埋め見込まれて、壁が壊れなければ、
1:06:19	機能は喪失しないということで、壁は健全なので、評価の対象にはなっていないという理解でよろしいですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:28	結構発令率でございます。おっしゃる通りですスクリーダクト社有下部の中に埋め込まれてございますので、世界を健全でありますのでそこは基本的にする壁と同様だと、健全であるということで、
1:06:44	モデル上はあそこにはできません。この境界上モデル上境界条件となります。はい、わかりました。
1:06:51	制度は一時、
1:06:58	すいません次お願いします。整流は一時ですか。
1:07:03	一井で評価しても全然ってということなんでしたっけ。
1:07:11	原子力機構の田内です。建屋に関しては、その他の施設に関しては保有水平耐力で、評価をしておりますちょっと簡易な評価ということで保有水平耐力での評価で、
1:07:27	崩壊することがないというようなことを確認してるというところですか。何が聞きたいかっていうと、
1:07:36	今回
1:07:38	廃止措置。
1:07:40	計画用設計地震動相当の地震力で計算しました。
1:07:47	ていうところで、ダクト等あと3だけ、V三つぐらい、止水弁を、
1:08:01	要するに、フィルタユニットは死んでもいいわけですよ。
1:08:06	知りたい人は死んでもいいから計算しないと。
1:08:10	止水弁サポートは死んじゃいけないもんだから計算しました。給気ダクトは死んじゃいけないから計算しました。
1:08:20	止水弁サポートの。
1:08:23	Vは死んじゃいけないから計算しました。
1:08:27	低スクリーダクトは計算していない。これは、さっき質問しましたけど、整備が健全であるというのを確認しているもんだから、
1:08:39	あえてここで計算する必要がないんですよ。
1:08:42	ていうことを確認したわけでありまして、その時の条件として、どういう計算をしたんですかっていう質問なんですけど、ちょっともう1回質問回答をお願いします。
1:08:54	はい。原子力機構の田口です。こちらの方
1:09:02	3年の6月に申請しましたその他の施設の外部事象の評価の中で、スラジ貯蔵場を含む建屋の、
1:09:15	耐震評価をやってるということでそれぞれ、こういう水平耐力を用いて評価をやってると。その結果は、
1:09:26	令和3年6月の申請の方に記載していて、建屋の方は、例えばセルを含む建屋というところは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:36	健全であるというところから、す。
1:09:40	今回新たに追加するものについて評価を行うというような
1:09:47	形になっております。
1:09:49	なので、
1:09:50	結局この、
1:09:52	セルなりスクリーダクトが死んじゃうと、B2 されるもんだから、
1:09:58	以前や、
1:10:00	保有水平耐力での計算の中で、
1:10:04	廃止措置計画用設計地震動相当の地震力の計算は包含されているっ ていうことでいいですね。
1:10:14	そこが崩れちゃうとそのスケジュール弱と推進じゃったら意味ないでしょ ってスクリーナーと計算しないと駄目なんじゃないかって話になっちゃう んで。
1:10:23	ちゃんと包含されてるもんだから、計算してませんっていうことで、
1:10:29	行きたいんですけどそれでいいですかっていう質問です。佐口です。認 識で間違いありません。建屋側の方は 6、去年の 6 月で、
1:10:39	概略の評価でありますが見つというところで、そこにつける、三園ませる としては健全ではあるけれどもそこに水が入ってきて、引き渦の時に放 射性物質が流出するかっていう可能性があるのもので今回止水弁を設置す ると。
1:10:58	ような形で申請をさせていただいております。
1:11:07	イシイさんが、今、不破イシイさんは、
1:11:14	X線規制庁のコマイですけど、ちょっとちょっとこれは、
1:11:22	1 日今はしゃべるのは私の意見ですけど、規制庁という意見じゃない んですけど。
1:11:28	先ほど澤さんがおっしゃった話っていうのは、聞けないですか、ここに。
1:11:37	それは難しい。まさに今、今やりとりがあったことで文章もどこにも読め ないんですよ。
1:11:45	そうですね。今口頭で議論した時に、我々もそうかと思ったんですけど、 結局文章書いてないと。
1:11:55	あと読んでも全然わかんないですよ。
1:11:59	けど、どうでしょうか。江崎大中です。それは、今日の面談の資料とし て、その申請内容のに対する補足の説明というような意味合いで
1:12:14	以前の認可いただいている内容と今回確認いただきたいところの繋がりを 整理させていただいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:23	紙に書いて出ささせていただきそれで十分だと思います。であれば、資料3のリバイス版を、後日資料ジェリー面談として入れてもらうという形でいいと思います。
1:12:39	機構さんとして、何か支障はないんですよね。はい。原色ナカノズ支障ないと思います。その方向で準備をさせていただきます。なので結局共通六条という関係じゃなくて、
1:12:52	津波については、はい措置、臭い措置計画用設計地震動相当の地震力でそれほか、さっき言ってもらったような、一時の話も入れてもらったらいいと思うんですけど。
1:13:07	配送チセ計画相当の地震力。
1:13:12	こういうのを使いましたんでそれで計算したものとして、
1:13:19	何ていうんでしょうか、構成部位として、一部のものは計算してるんだけど一部のものは計算していない。
1:13:25	熱心でいいやつは計算しない指針ちゃいけないやつは計算しました。
1:13:30	なんだけど、セル等フィルターユニットを貫通するところについては計算してないんだけどそれはなぜかっていうと、
1:13:38	すでにやっている計算で包含されていて、セルの健全性も確認されてるもんだから、そこは外すになることはないので、計算には含めておりませんっていうことだと思う。
1:13:51	で、そこを充実させれば、後でフィルターなピアじゃ。
1:13:58	布施整備の観点と計算しなくてよかったのかっていったところに対してはクリアカットに回答できるのかなと思いますので、
1:14:08	そういう扱いをお願いします。
1:14:13	はい原子力機構の仲村さんも承知しましたその方向で準備いたします。白水さん、よろしいですね。
1:14:19	はい原子力をする承知しました。
1:14:27	後ちょっと、
1:14:28	規制庁さん。
1:14:30	あれですね
1:14:32	シュアを見た限り、この間とはちょっと説明のロジックが変わったわけですね。
1:14:37	結局この、
1:14:40	耐震のところをどう書くのか問題は前回のロジックだと。もちろん、SクラスとかBクラスになるものは書きますよ。Cクラスについては、
1:14:50	既設工認で計算をしていて、変更を伴うものは書きます。既設工認には登場してないんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:02	廃措置計画なもんだから、Cクラスで新設するものであってもそれは省略するっていうので、今まででもやっておりまして、
1:15:11	既設工認から変更がないのは、書くのかないのかちょっと忘れましてけど、そういう説明だったと思ったんですけどそれはもう一切なくなって、
1:15:21	ロジックとして、
1:15:25	Cクラスについては要は基準適合として見る、見なきゃいけないやつは各種見なくていいやつは書かないと。従って、例えば6条の
1:15:37	安全機能を有しておらず当該条項には該当しない、安全機能を有していないんだから、6条として書く必要がないでしょ、耐震評価をする必要がないっていう整理。
1:15:48	なのでからないと
1:15:50	変更し直したっていう理解でよろしいですかね。
1:15:54	シンプルにそうそうしたと、原子力機構田内です。すいません前前回の説明のときにちょっと我々の方も、評価の方針というのと評価の結果、計算結果というところをうまく
1:16:10	切り分けてというかご説明できなくて酒類に関しては、評価の報酬は原則として書きますと。評価結果の方は、従来から記載していなかったLED類についてはビールについては計算書をつけないというような形には変わっておりますが、
1:16:28	計算結果んの、宇和種別というようなところで種類については、以前からもちょっと計算結果は示していないものは、ほとんどだったというところでは。
1:16:40	規制庁さそこに認識の相違はなかったんですけど、単純にその、
1:16:45	大卒計画として設備としてエントリーしたにもかかわらず、基準適合で書かないっていうロジックは、既設工認との関係で整理してたもんだから、
1:16:59	既設工認で加藤状してるもので、改造するんだったら、各市なりす。耐震評価が変わるんだったら、各市で既設、
1:17:10	に登場なくて、今回廃止措置計画上のエントリーするんだけど、Cvだったたら省略するっていうご説明だったんだけどそれはもう一切なくなったので、
1:17:22	もうロジック切り換えて、
1:17:24	安全機能を有していない、耐震上の安全機能を有し世代っていうのはもう書く必要はないよねっていう整理し直したってね、理解したその認識だっているんですかね。
1:17:37	はい、原子力機構タグチです。その通りです。ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:44	考えの方をちょっと整理して参りました。はい。そうなんだとすると、あともう1個。
1:17:54	の書き方として、
1:17:56	焼却施設とカー他もそうなんだ、木、
1:18:00	既設工認ある既設設備から設計変更を伴わなければ書かないってき焼却設備はそうですよね。償却するから。
1:18:11	設定。
1:18:13	っていう話があるんですけどそれは正しいんです既設工認等の関係で、
1:18:20	設計変更がなければ書かないっていう、作法なのでありますと、いうことでよろしいのでしたっけ。現状をタグチです。相当。
1:18:32	基本的には書かないでいいと考えております。ただし今回、B、B類のものがあるときで、C類のものは変更がないというような今回ケースでしたので書きませんでした安全機能を持ってC類のものしかないというところの時に、
1:18:50	何も書かないという、
1:18:53	もうちょっと赤司ので、その時にはこれこれこれが既設洞道やってるので耐震設計に変更はないというような形でちょっと方針ではないものが変更がありませんというようなことを
1:19:08	お示しするというケースはあるんでございます。
1:19:12	何が各社品にかけてしたいかっていうと、
1:19:15	施工人とつけてもらったんですけど。
1:19:18	③で焼却施設でその冷水配管のことを書いてて、
1:19:24	既設設備からの設計変更を伴わないから書かない。
1:19:29	書いてるんだけど、これ施行にとってないんじゃないですか。後ろに添付されてないから。
1:19:39	いや、後にそのファクトとしてその建設工認との関係を添付されてるんですけど。
1:19:45	このペーパーだ時、施工認可をかんがみて、設計変更がないから、記載しないって書いてるんだけど。
1:19:55	これは間違ってるじゃない、既設校に取ってないんじゃないかっていう検証機構田内です。すみません今回ちょっと添付させていただいたのがクリプトン施設についてのアップを示すということでプリプリ施設に関する
1:20:11	法人過去の設工認を記載させていただきましたが、
1:20:16	そうIFの方すいません、ゲーム特管の方

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:22	低ピッチスパン殿を設計するといったような考え方近接工認の記載って いうのはあるんじゃないかと思うんですがいかがでしょうか。
1:20:32	技師補武内ですけれども、IFは冷水設備についても当金庫の方で申請 をされていて、基本的にその通りスマホ施行するということで記載されて いたかと思っております。以上です。
1:20:48	嗟哦です。多分それを添付すればもうこの話はお支払いだと思うんです が、要はその、
1:20:54	何を登録したのかっていう話は、
1:21:01	何て言うんすかね。登録した設備は書いてるんだけど、
1:21:06	安全機能を有しないで整理しているものは、耐震の条文のところに書か ないでクリアカットに書いてるそれは書いてごさいませんとわかりまし たと。
1:21:16	耐震上見ないといけないって書いてるんだけど、申請書上書いていない というものがございましてと、それはなぜかという、既設工認との関係 で、
1:21:32	設計変更を伴わないから書いてないんですっていうロジックなんなんで すよね。そうなんだとすると、焼却施設の冷水配管の、
1:21:42	施工人の添付書類を資料につけて、変更ないですよっていうのがわか れば、機構のロジックとしては登録してない妥当性がわかるから、他 のやつは、
1:21:55	書かないといけない理由が書いてるから、従って、施工神野清佐瀬後 輩措置計画の申請書に書いてるっていうことで、すべてが説明つくんじ ゃないかと思うので、
1:22:07	こちらからの提案としては、改めて先ほどお話した廃止措置計画用設計 地震動と地震力なりの記載を充実させる中で、
1:22:19	焼却施設の既設工事のやつを添付してもらって、資料受理面談として、 資料 10 してもらえれば、この案件は終わると思います。
1:22:29	いかがでしょうか。
1:22:31	原子力機構田口です。今回の考え方の見直しに合わせてファクトとして 付ける添付の資料の方を追加させていただき、IFの金加茂。
1:22:46	資料を添付させていただきます。
1:23:07	よろしいでしょうか。
1:23:11	出席資料のご説明をお願いいたします。
1:23:18	評価部中に性能維持施設の見直しということで、右下 56 ページからの 資料についてご説明させていただきます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:29	こちらの方前回 7 月 6 日につきまして、資料をさらにちょっと検討を進めたというところでご説明するものです。
1:23:43	ちょっとイントロそこで
1:23:48	今までの廃止措置計画におきましては、性能維持施設、ものが定めておりますがそれについては再処理施設が再処理運転時の検査項目というものとの繋がりを重視していて、
1:24:05	当時の定期検査、定期自主検査の対象としていた設備というものを性能維持施設としていたというものです。こちらの方、58 ページの方に、
1:24:16	どういった考え方で、現在のセンター瀬野理事長、そういうものが定まっているのかというところを上手くを絵に示したものがございます。左上の方からありますように事業指定とか設工認、
1:24:30	基づいて認可された施設というものが母数としてありましてその中から、
1:24:39	施設定期自主をさせて検査の対象部施設もこれももともと使用前検査と言っていたものを対象になってから呼ばれていますが、そういったものをそのまま、
1:24:52	廃止措置計画の認可の審査の考え方の中で、従来、定検の対象として、機器等から
1:25:01	その飲食を選ぶというような考え方が示されておりましたのでちょっと派生の一節を選定していると、そこに緊急安全対策で、
1:25:12	サービス、整備した施設等を加えたものといったところが安全一般、申請をしていただいているというところなんです。その後、
1:25:23	中ほど右の方にありますが、ファンとpdf等への安全対策等で新たに設置した設置施設というものがございますので、
1:25:35	これを加えたものというのが現状の機能維持施設でございます。
1:25:41	こちらの方左側の方にちょっと青字で書いてあります
1:25:48	基本的には今検査との関わりというところで、静的な施設、機能のみを持つもの、女性であるとか、配管といったようなものについては、
1:26:01	聖隷実績としては明示していない。ただし廃止措置計画の方ではそういった動的な機器に繋がるんが性能維持施設になっているものを含む系統は性能維持施設として考えるという考え方を書いてありますが、その範囲については、
1:26:19	あまり明確に記載されていないというような状況でございました。
1:26:24	56 ページの方に戻りまして、工程洗浄は終わりました後、本格的な廃止措置の方に移っていくということで、解体のための系統除染であるとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:42	実際の解体工事の方に移っていくということがございますので、その段階に応じて、改めてその廃止措置の中で必要な安全機能というものを整備して間瀬の移設の選定を行うというような作業を進めております。
1:26:58	今回並行を、
1:27:02	7月6日の御説明から大きく変わったところ、大きく変えたというか検討するようなどころに行に書いてございます。はい産地段階の設備の状態と安全機能の考え方というところで、協定洗浄後の設備の状態というものとしては大きく二つに分かれるということで、
1:27:21	方も、一定期間、使用済み燃料であるとか、核燃料物質の貯蔵に使ったり、杉放射性廃棄物の処理貯蔵を継続する設備、今後ちょっと使用を継続する設備と、
1:27:36	省略させていただきますが、それと、
1:27:39	今後は、使用済み燃料やの。
1:27:42	核燃料物質の貯蔵、あとは放射性廃棄物の処理貯蔵といったものに、主要施設、除染解体を進めていく設備、これをここ、今後使用する、しない設備、させていただきますが大きく二つに分類されますということで、
1:27:59	それぞれの設備の状態については泉が必要な安全機能が狭まるということから、その考え方をいかにと、図2の方に示してございます。
1:28:10	まだちょっと本部の方で説明させていただきますと、主要継続する設備につきましてはこれまでと同様に、放射性物質を系統及び機器内に閉じ込める、あとは放射線を遮へいするといったような、
1:28:25	放射性物質を処理貯蔵する施設として必要となる基本的な安全機能と併せまして、取り扱う放射性物質の特性に応じた、各化学的制限値の維持であるとか、熱的制限値の維持、
1:28:40	崩壊熱除去等々の放射性物質の処理貯蔵等に必要な安全機能及びそれらに関する事項対象機能についてのようなものを維持しなければならないと考えております。
1:28:53	一方、今後使用しない設備につきましては、使用週ん使用終了するときに支店長等を行いますので、その使用終了時の洗浄であるとか、今回、分離精製工場等で行っておりますような工程洗浄により、
1:29:09	系統内及び機器内部から放射性物質を取り出して、その両用語が低減した状態であるということから、その使用を継続する設備で必要とされた安全機能というものは原則として藤不要な状態となっております。
1:29:27	ただし全くの空になってならないものもあるというものがあって、少量の廃液等が残留或いは内部に放射性物が付着した状態であって、
1:29:39	それらを環境に復帰することを防止する必要があるということです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:45	またその実際の解体段階におきましては、解体に伴って発生する、粉じん等が環境中に放出されることを防止することが、必要があります。
1:29:57	そのため本、この使用しない設備におきましても、系統及び機器内に残留する放射性物質を建屋セル内に閉じ込めて放射線を遮へいするといった、
1:30:09	放射性物質を取り扱うための安全機能というものは維持しなければならないと考えております。
1:30:16	なお、解体に向けた除染に伴いまして、一時的に廃液の受けた場合、あとは減容処理といったものを行う可能性もございますがそれらについてはその運転操作に係る特別の安全機能の要否については、
1:30:33	運転間所様に確認を行ってその結果に応じて、
1:30:38	適切な対策を駆使する、こういうことを考えております。
1:30:43	また両牛尾継続する施設、使用継続しない、募集をしない設備を設置している施設建屋については、
1:30:54	原子力施設として、共通的な安全機能として建屋の消火設備であるとか、火災の感知機能であるとか放射線の管理基準については維持していく必要があると考えております。
1:31:08	こちらの考え方を簡単な図にしたものが、右下生 59 ページの方に示してございます。
1:31:19	廃止対象施設を二つ、考えておりまして右側の方、土地を継続する施設につきましては、先ほど申したような
1:31:31	層厚させる物質を取り扱うための安全機能。
1:31:36	あとは主、処理貯蔵に必要な安全系も、事故対象というのを、ショウコウキシュや放射線管理といったような共通的な安全機能の方を維持していくと。
1:31:50	使用しない設備につきましては残留する放射性物質を持っているというようなところがございますので、放射性物質を取り扱うための安全機能及び共通的な安全機能。
1:32:04	といったところを維持してございます。
1:32:10	そのちょっと大きな考え方に基づきまして 57 ページ、サービスの参考のところ、具体的な個別の安全機能について検討となっているところで、
1:32:25	こちらの方取り扱う物質環境と、再処理施設の技術基準に関する規則に基づく安全機能というものの関係を整理したというところで、
1:32:37	先ほどありました使用を継続する設備と今後使用し、しない設備で必要とされるものっていうものを整理したものが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:48	図 3 氏田 60 ページの方に示してございます。こちらの図につきましては、7 月 6 日にご説明したものを若干直しております。
1:33:04	放射性物質を持っているというようなところで共通的な機能というところで右の方にありますような放射性物質をマーケットを機器で維持するか、負圧を維持するといったような考え方。液体。
1:33:20	特有の話としては、
1:33:22	現地であるとか漏えい拡大と言っちゃうところ、その中でも放射性廃液を持っているというところに関しましては津波等の外部事象への対応対応。
1:33:34	また、固体の中ではシューズ燃料を持っているというところで、搬送機能であるとか遮へい、プールの遮へい等が必要だといったようなところ、そういったところを整理してございます。で、右側の必要となる機能で、青枠で囲っている部分につきましては使用継続。
1:33:54	ある設備について、これらの機能の中から必要な機能を維持していくという、その中で赤枠で囲った部分につきまして、ここにつきましては今後使用しない設備の中で、についてはこの中から、
1:34:11	必要な機能を選んでいく基本的には全部必要だと思ってるんですが、この中から選択していくということを考えてございます。
1:34:23	えっと 57 ページの図にした 57 ページの方に戻りまして今のところを文章で書いてございますが使用を継続する設備については、液体状或いは固体状の放射性物質の処理、貯蔵する施設において基本的に必要となる安全機能、あとは、
1:34:42	シロウズの燃料等の取り扱い猪廃棄物の処理貯蔵の継続に必要な機能、
1:34:50	放射性廃棄物を蒸発乾固防止のための事故対処機能、プラントの共通的な安全機能というものを維持していくと、今後使用しない設備につきましては、除染解体を進めていく系統及び施設機器内に残留する放射性物質というのを、
1:35:08	建屋セル内に閉じ込めるために必要となるセル、建屋の放出経路の維持機能及び負圧維持機能といったものを維持するとともに、
1:35:20	共通的な安全機能というものを維持していくということを考えてございます。
1:35:26	先ほどのうちの上だけ書いてあるもの、がありました。それぞれ、もうちょっと詳細化したものを、
1:35:38	それぞれの施設の廃止措置の進捗に伴う機能の解除というものと合わせまして、表 1 表 2 の方に示してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:50	61 ページの方に共有してございます。
1:35:55	こちらの表につきましても 7 月 6 日にご説明してある程度整理されているというような
1:36:02	お話をいただいたものでございますが今回先ほどの昨日の整理表に合わせて、並び替えを行ってございます。
1:36:13	ちょっと重要な機能の部分について、簡単にご説明させていただきます。
1:36:20	今、放射性物質を貯蔵していくというようなところで施設の状況、あと機能の考え方というところで機器、放射性物質のルールをするために、系統及び機器内で保持する必要があるというようなところで、これは先ほどの、
1:36:37	有田須賀放射性物質の保持機能というような形で
1:36:43	整理しております。
1:36:44	それらについては、
1:36:46	どこまでその機能を維持するのかというようなところ核燃料物質の貯蔵であるとか、放射性廃棄物の処理貯蔵終了するので、維持する、実際のその解除条件としましては、
1:37:00	燃料物質の貯蔵放射性廃棄物の処理貯蔵を終了して少量の廃液の残留付着のみとなった場合であるとか、
1:37:12	取り扱う放射性物質の量が低減して、漏えいが想定しても一般公衆への影響が十分小さい濃度アップの場合、実際のところ、
1:37:23	あとはその下に重要な機能ありますが
1:37:27	機器、系統及び地層の負圧維持機能であるとか、本来する側になりますが放出経路の維持機能、あとはセルの負圧維持機能。
1:37:40	教室教育の維持機能ということで、提案書の法律系の維持期の後、建屋の負圧維持期も一体何が重要になってくるかと思えます。
1:37:51	こちらの表 1 の方が先ほど主要継続する設備に関する機能の一覧ということで整理しております。
1:38:02	えっと、ちょっと前回と異なるのが、ちょっと使用の使用しない設備ということで、右下、
1:38:11	64 ページ。
1:38:15	募集しない設備で、必要となる機能というものをちょっと準備して表として整理しております。
1:38:23	こちらの方主要施設の状況として、こちらの方、放射性物質だけ取るべき機器のセル内に残留している。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:35	であるとか、あそこから出る放射性廃棄物の気体液体のところを配置を行うというようなところで基本的には先ほどの、
1:38:44	使用継続する施設と、その中の機能の一部を維持していくというような形で整理をしてございます。
1:38:53	衛藤。
1:38:57	さらにちょっと検討を進めたというようなところで、
1:39:03	すいません右下の 17 ページの 4 のところに、
1:39:09	対象範囲の明確化というようなところで各機能、先ほど申しました、環境安全機能を直接有する設備、及びその安全機能を維持するために必要な電源。
1:39:23	供給設備とかユーティリティー供給設備というものを、
1:39:28	設備を抽出しましてその範囲を明確にしたいと考えてございます。
1:39:35	こちらの方図の中で、数、
1:39:41	1 から五つのまさに各機能のところどころ絶対 1 から、
1:39:50	27 というような形でちょっと書いてございますがそれらの個別のものを、右下 65 ページ以降にお示しております。
1:40:02	でそのちょっと主要なところをご説明させていただきますと、65 ページのところ放射性物質の保持機能というようなところでこちらの方は、関連機能はあまりあまりなくて地層等での閉じ込めを行うというようなところで、
1:40:18	いつまで、維持するのか、解除条件といったところは産業部の兵頭様でございますが、どういったところでその解除することの妥当性を確認していくのかというところで、
1:40:33	一番下の欄のところに、解除の妥当性の確認というようなところで、
1:40:39	系統及び機器内で取り扱う放射性物質、音量をすべて保持した場合の一般公衆への影響といったようなものを、
1:40:48	評価しまして、基準値との比較により解除の%統制を必要に応じて確認していくというようなことを考えてございます。
1:40:57	66 ページの方には、機器及び系統及び機器の負圧維持を構成する機器等ということで、こういったものから若干
1:41:10	図が複雑になってきますが、こちらの方については、負圧維持のためというようなところで、排風機といったところが
1:41:22	対象になってくると、その排風機能負圧の維持機能に必須というところで、
1:41:31	上の図で③にありますような電源の供給設備であるとか、計装設備、その他のユーティリティー設備というところも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:40	性能維持施設の範囲としてメーカーを保管することを考えてごさいます。
1:41:50	57 ページのところに
1:41:55	選出の放射性物質の放出経路の維持機能というようにところで、機器でも、
1:42:02	指揮下の外側のところで本付けを維持するというようにところで、対象としては、セルフフィルター排風機といったようなこの機器の、
1:42:15	曾田部分を対象としていくというようにところで、そういった形で
1:42:23	不良の部分が製品施設を構成するののかということを確認にしていきたいと考えてごさいます。
1:42:34	57 ページの、
1:42:38	のところに戻りまして、ということで放射性廃棄物の処理というものを進めるということ自体はそのリスト、リスクの低減であるとか、廃棄物の貯蔵教育観点では安全には、
1:42:54	関わるもの、考えてごさいますが、
1:42:58	故障等によりまして、公衆及び放射線従事者の放射性被ばくに直ちに影響を与えない規模につきましては、
1:43:07	教育委員会の合理化の観点からの方針等に許認可を要する性能維持施設とせず、
1:43:14	世界保安規定等に持つ、基づく、運転及び保守管理によりまして、廃棄物処理のための機能といったものを維持していくということを考えてごさいます。
1:43:28	今までご説明したような方法に基づいて生存施設の具体的な選定を行いまして、先ほど図に示したような対象範囲の明確化、あとはその安全、
1:43:41	機能確保に必要なピース、ちょっとご説明しませんでした排風機等については複数あるところがあるというところで、例えば常陽日記といったようなところを常陽一気に減らしていくとか、
1:43:54	そういったところも含めて検討していく。あとはその機能の解除条件検査方法を、生命施設になりますと計算法検査の対象となりますので、
1:44:06	すいません。定期事業者検査の対象となりますのでその検査方法等も含めて、
1:44:12	再度検討を行いまして廃止措置計画の変更認可申請を行っていくということでごさいます。
1:44:19	説明は以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:23	資料につきまして、確認事項等ありましたらお願いいたします。はい、規制庁さん。
1:44:30	性能維持施設の見直しの話は、
1:44:33	おそらくいろんな意見が出てくるんじゃないかと思ってますと。
1:44:39	多分、性能維持施設を皆で見直していきますっていうのは多分みんな総論賛成で、
1:44:47	総論賛成なんだけれども、各論に入ったところで、賛成になるのか反対になるのか、結構分かれてくるんじゃないかと。
1:44:56	私なんか思っております、
1:44:59	多分わかりやすい例だと今もそのグリーン区域の基準を満たす場合になったらとか、管理区域解除の基準値満たす場合とかですね。
1:45:11	そういうのは踏むそうだよねっていうので、納得してもらえるかもしれないんですけど、例えばその 50 マイクロの話とか、50 マイクロの話とカーは、
1:45:24	これ性能維持施設からエントリーは外していいのかみたいな議論も出てくるんじゃないかと思っていて、多分基本のロジックだと、この個人マイクのやつは、
1:45:38	普通の設備の機能を解除したとしても、
1:45:41	50 マイクロ下回りますんでってよ、より厳しい条件見たとしても 50 マイクロなので、エントリーから外していいですよって説明だと思うんです。
1:45:52	そうそうかと。それなら性能維持施設から外してもいいかと。だったとして、もう、それでもなお性能維持施設からやっぱり外しちゃいけないんじゃないかっていう議論が出てきたときのために、
1:46:07	ちょっと足りないんじゃないかと思っていやそう。
1:46:10	性能維持施設として、
1:46:13	解除したとしても、
1:46:17	丸々するっていうようなものを何か日本語として何か足せないですかねって言えばその性能維持施設として外しますっていうのはいいんですけど。
1:46:27	それでもなお性能維持施設として外しちゃ駄目なんじゃないかって言う人も押し問答があったときに、
1:46:35	こう入れ性能維持施設から外すんだけど、何かあったときには丸々しますっていうお約束をしておりますんで。うん。外していいでしょうかっていうその間丸々するっていうのも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:47	やっぱバーターとして何か足した方が説明としていいと思うんだなんかそういうのできないですかね。
1:46:53	はい。副原子力機構の田内です。ちょっとちょ、今、今即答はできませんが実際に背元気ん発電所の中でも、
1:47:06	性能維持施設は重要なものは性能維持施設としてやりますと、重要なものでないような自主管理をしますっていうような形で、
1:47:16	説明はしてるんですが
1:47:19	性能維持施設から外すっていうともう製造維持しなくていいんでしょっていうような、
1:47:28	入ってしまうところがあって我々としてはそのす。
1:47:32	性能維持施設ではないものについても、うん。我々の保安規定の中での自主的な検査です。
1:47:43	定期事業者検査ではないものの自主的な点検を行っているものとかっていうものがあるんでそういうところでは管理していくということは、
1:47:52	ご説明できるんですが、やはり性能維持施設じゃないと性能し、維持しなくていいんでしょっていうところを、
1:47:58	うまい説明をちょっとそんなし、考えていきたいと思います。その施設じゃないので当然も実施しなくなるので、
1:48:08	ただ、
1:48:09	維持しないがゆえに、まかり何か漏えい等があったとしてもリスクとしては低いんだけど、保安規定等でちゃんと適切に措置するとかですね。
1:48:21	何かそういう何かソフト
1:48:25	網の、
1:48:26	対応できれば、要はリスクが低いので、性能維持施設としては当然もうエントリーする必要はないんですとおっしゃって、維持する義務はないんだけど、
1:48:37	ただ、リスクとしてぎりぎりあるようなものがあって、維持しないんだから、仮に、万が一、漏えい等があった場合においても、
1:48:51	保安規定等何団体を当然するわけですから、
1:48:57	問題ございませんっていうような
1:49:00	何でそういう性能維持施設から、
1:49:03	明らかに外しても何も言われなと思うんですけど、
1:49:08	割と性能維持ですから、エントリーから外さよう割と多分広目に取りたいと思うんですね。
1:49:14	広目にとるときに、広めにとるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:20	広めにとって、性能維持施設から外して本当にいいのかってなったときにこういう理由で外せますよっていう話でご納得いただいたとしてもそれでもなおいいのか。
1:49:31	議論が出たときのために、いやそれでもその維持はしませんけど、何かあった時は当然保安規定の丸々等で丸々とか対応しますんで問題ございませんとかですね、なんかそういう説明。
1:49:46	があれば乗り切れるんじゃないかと思ったんですけどね。
1:49:53	いや、当たり前前の講義をすればいいだけなのかもしれないですけどね。もう。
1:49:58	プラントとしての当たり前前の行為をすればいいだけなのかもしれないですけど。
1:50:06	はい、原子力機構タグチです。ちょっとご助言踏まえて、説明の仕方について検討させていただきたいと思います。
1:50:17	これからも直球で、
1:50:20	リスクとの関係をしっかり説明し切って、
1:50:24	もう性能維持施設からエントリーから外すんです。以上お終いいずれかですねっていう話もあると思うんですしっかりこの、性能維持施設から、
1:50:35	どこ電源切れるのかっていうのをしっかりもう詰めて、もう説明し切って、もうそれでも、
1:50:42	ので、遠藤で切れませよねっていう説明し切って了解取りつけて、外すっていうそういう策も当然あるとは思んですけど。
1:50:51	ちょっとなんかいろんな意見が出てくるんじゃないかなと思って早々交渉は厳しいんですよ。
1:50:59	研修期間中です。ありがとうございます。確かにご指摘の通り、特に
1:51:09	被ばく影響環境影響を根拠に、いらないうって線引きを議論し始めると、なかなか多分反論もあって難しいのかなっていう、今までの経験上ですとかそういった思いがあります。
1:51:23	あとここで自主的な管理にゆだねるっていうのも、
1:51:27	多分
1:51:29	規制側の
1:51:33	立場としては、なかなかそれでいいよってのもいいにくい状況も一方であるのかなっていうそこをちょっと気にしているところであります。ちょっとそういうところを踏まえると、やはり事業者として
1:51:45	あくまで廃止ですので、廃止を進めるっていうのが、
1:51:49	まず大事で進めるためにはやっぱり機能をひとつ順次解除して、除染して解体所を進めていかなきゃいけないっていう立場になりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:59	この生命維持施設どこまで維持するまたは外していくっていう時も、だからそのロジックを事業者としてきちんと説明し切る。
1:52:07	ここでこれを外すのはその後、
1:52:11	昨日は、
1:52:12	以上やめることによってこうやって廃止に向かって進めていく必要があるからだから、外す必要があるんですけどところをまずは整理させていただくのがポイントなのかなと。そこは、
1:52:23	ご理解た上で、その、じゃあ外すことの影響はどうなのかっていうところは、その妥当性を示すためにその 50 マイクロをどのぐらいクリアしてるかの評価であったりとか、
1:52:36	例えばご指摘いただいたようなその保安規定に基づいてその代替の措置含めて何かあった場合にどういう対応がとれるかっていうところを、安全性として説明した上で、その、
1:52:47	解除のタイミングですとか妥当性、
1:52:51	整理していくのかなと、大きく分けてそんな考え方をされていて、ちょっとそういったところもまず第 1 の主張として、本日の資料は特にその使用しない、廃止に向かっていくっていう位置付けをしたものについてはこういう割り切りをしたいというのはそんな整理をさせていただいてると、そういう趣旨でございます。
1:53:43	規制庁の方です。4 発の対象範囲を書かんところ。
1:53:50	なんかも示しますけど、なお書きのところの文章で、故障等の更新による放射線従事者が被ばく、直ちに影響を与えない機能。
1:54:02	は、
1:54:03	先週実績ないって言ったときに、
1:54:06	何か声明時節する施設がわかりますか。
1:54:11	何か専門施設をする施設って、
1:54:14	ほぼなくなるんじゃないのかなっていう気がするんですけど、そういう意味ではないですか。
1:54:20	江藤傾斜機構タグチすみません。このところ
1:54:26	は、
1:54:27	明確に言ってしまうと処理を行う時の安全機能、例えば廃棄物量等を行う時の安全機能みたいなものは、生存施設、当然しますと、ただし
1:54:43	例えば処理を行うとき 2 乗 20 日をたきますっていうときの例えば蒸気の供給機能、蒸発化を処理するためのユーティリティーみたいなものは性能維持施設にはしませんと。
1:54:57	いう答弁記載してます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:02	その処理をする機能自体は性能維持施設にしませんと、安全機能処理をする時の安全機能のある程度維持するにしますと、
1:55:18	すいません、廃棄物処理を行うということ自体が安全等、安全機能直接ではないけれども、長期的には廃棄物を例えばちゃん、安全な形に処理していくというのも、
1:55:33	安全でしょっていうことを以前言われ、ご検討いただいたようなこともあって、そういった生産、
1:55:42	機能的なもの。
1:55:44	そういったところは今後の対象に、生命施設、
1:55:49	にはしないで、
1:55:51	適宜、
1:55:56	不具合等が生じたら、更新統をして、
1:56:01	保守を更新統して、処理を継続していくと。
1:56:07	行きたいというような記載です。
1:56:10	ちょっとその処理をする機能というのは
1:56:14	何か、全体の機能一覧の表があるんですけど、そこには出てきてないってことなんですけど。
1:56:23	原子力機構の田淵です。
1:56:32	等、
1:56:33	右下 110 ページ、下から
1:56:38	三つぐらいのところに処理というようなボックスが左側にあるところがあってそこでは、例えば蒸発処理とか行う時の熱的制限値を確保維持するための機能であるとか、
1:56:54	たばこを分析するであるとか、
1:56:57	そういった安全に関する処理を行うための安全機能に関わるものについては生命維持施設にしますと、ただ処理自体を行う。
1:57:08	ものについては、
1:57:10	業務処理自体をこの機能については性能維持施設には今のところ入れないということを考えてると思うんです。
1:57:19	少し補足させてください。
1:57:23	結局廃棄物を処理するといってもその廃棄物は放射性の廃棄物ですので、原子力安全深く関わってきて、ほとんどの部分が安全上の観点で性能維持施設になるのかなと。
1:57:37	ただ、一部例えばセメント固化であればセメント原料を供給する系統であったりとか、直接原子力安全にはかかわらないただしそれが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:49	もし壊れた場合には、その廃棄物の処理そのものは滞る可能性がある。そういったものの扱いについて、このなお書きの方で、
1:58:00	ちょっと、おそらく内的にですね賛否があるのかなと思いつつ、
1:58:05	提案させていただいてるという状況ですんで、そういったものについては、むしろ丁寧に規制庁の審査をいただき、これ専門施設に登録すると、いずれは許認可の対象として
1:58:21	衛藤補修ですとかそういったすべて縛りがかかってくるというふうに理解しておりますので、そういった更新ですとか変更ですとかそういった将来的な取り組み含めて、
1:58:34	何だろう、安全に直接かかわらないっていう状況も踏まえれば、事業者の判断で、速やかに補修ですとか交換ですがそういった対応をしながら、処理を前に進めていく。
1:58:48	ていうのが、ある意味合理的なのかなっていうものがあるってそのように思って、そういう、いわゆる廃棄物処理の生産系のみの特化したものについては、
1:58:58	あえて出さないというような整理を行った提案させていただいてるという状況。
1:59:04	規制庁そうするとそれは図の2で、
1:59:08	はい措置対象施設を、三瓶3ポツのところで、維持する、使用する使用を継続する施設と交渉しない設備って分けたんだけど、
1:59:20	この前段にまだ別に、この対象になってない設備があるよってこと。
1:59:28	いいですか。
1:59:33	このカテゴリに分類する以外の設備もあるんですけど、まず前段だと。
1:59:40	はい。ご指摘の通りかと言います図面はあくまでもその性能を維持する施設として選ぶものをこういうふうに分けて選んでいきたいというと、当然これ選ばれないものも、
1:59:50	これの外にあるっていうそういう理解です。だから廃止措置対象施設としては全体がっていうことだと理解するので、あるんであればそれはやっぱり、
2:00:00	はい。ここに何か全体だっていうところに、何か示しとかないと。
2:00:07	ちょっと理解が追いつかない。わかりました。入口の。
2:00:10	プロジェクトとして、ちょっとそこも含めた全体像がわかるような、
2:00:15	整理したいと思います。
2:00:19	ちょっとその上で、ぜひといいますか。
2:00:23	そこは
2:00:25	議案は継続させていただければ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:32	そこちょっと前も聞いたんですよ。この話は、いつまでに決着つけないといけないんですけどこの。
2:00:39	申請は、
2:00:42	いつをねらってるんですか。
2:00:45	減少期間はですね、年度末目標において、
2:00:51	進めても、
2:00:52	年度末ってことですよ。
2:00:56	性能、
2:00:59	維持施設の見直してというのはもうあれで性能維持水質汚染エントリーされてるものはすべて、
2:01:06	見直して、いつの段階でエントリーを外すのか。
2:01:10	ていうのを、全部リバイスかけるっていうことでよろしいんですよ。そうではなくてですか。
2:01:17	はいおそらく、月初北方です年度末に、この考え方はもし整備がですね、ついて申請する際にはですねえと。
2:01:27	一通り考え方とともに、具体対象となる性能維持施設はこれですというリストを一通り申請させていただくということ、それぞれ対象については、
2:01:37	性能を維持する期間というのを書きますので、どこまでの期間維持するというような、
2:01:44	記載をさせていただいて出させていただきますので会場の考え方もある程度整理した上で、その記載の書き方は、具体的に時期を示すの鎌田城条件的なもので示させていただく方法とかいろいろあると思いますがそこも
2:01:59	考え方を固めた上で申請をさせていただきたいというふうに考えてます。院長さんの日程の質問は、
2:02:08	専門維持施設関係で
2:02:12	はですね、毎回毎回この性能維持施設の変更の時に廃止措置計画変更するのかっていう合理化できないのかっていう議論が、
2:02:22	あったというふうに聞いているんですけど、それについては今回は低はつけないっていう、
2:02:29	今まではその、
2:02:30	性能維持施設を一発で変更するときには、
2:02:34	施工人相当図書を出して、それと同等の変更するんであれば、それはもう申請不要でやっていくという整理になっていると聞いたんですけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:46	そもそも施工、性能維持施設としてエントリーされていて、もう事業者の方で自主的に、
2:02:53	修正募集なり集団に改造ができますと。
2:02:58	はい措置計画の申請は不要であるできないのかって合理化できないのかっていう議論もあったと私は聞いておりまして、そういった議論は今回はされないんでしょうか。
2:03:10	三崎小中です。衛藤。
2:03:14	そのための申請だと思ってます。
2:03:20	当初清野委員施設の境目とかが若干、特に静的な企業中心あまり明確でなかったっていう状況の中で、生命いい施設であるなしにかかわらず
2:03:33	ある程度その都度その都度の認可ではなくて、事業者側に任せていただく範囲とかあとはその確認いただく際にもまとめて、確認いただいた上で、随時の、
2:03:44	交換とかは、事業者側の管理でっていうようなそういう相談させていただいてる中で、そもそもやっぱり性能維持施設、
2:03:52	じゃなければ、
2:03:54	組成の移設がどうかっていうところが許認可ご相談いただくときにそこからいつも混乱するようなところもございましたので、まずこれを整理するべきだっていうところで、
2:04:04	お話いただきましたので、まずこれを整理した上で、これが明確になれば、当然ながらそこから外れてる部分というのは、事業者側の管理でっていうところで、まず外れてきますのでまずそれだけでも、
2:04:18	かなり整理がされて、合理化を図れるのかなと思ってます。あとさらに性能維持施設に選ばれたものの保守管理。
2:04:28	更新ですとかそういったのをやっていく上でのその、
2:04:31	認可のいただき方っていうのも、ちょっとそれはどう同時なのかまたそれが決まった上で追ってになるのかもしれないそこも継続的に議論させていただきたいと思ってます。
2:04:41	これが規定なのかなと思ってます。ありがとうございます。
2:05:09	しますとか、いろいろ種類でしょうか。
2:05:19	肥後鹿田伊井。
2:05:39	つけて、
2:05:44	建植方向ですいません。失礼しました。スケジュールについてはですね、来週、31 をしてございます。案件としましては今回ご報告しましたガラス固化処理工程整備を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:58	あとはベンツ清流関係その他の報告事項ということで案件がありましたら報告させていただくことを予定しております。説明は以上です。
2:06:13	だけれども、案の方、そのガラスぽかーの話はもう、今回説明いただいて、
2:06:21	何かリバイスはあるんですけど
2:06:23	ガラス固化安堵工程洗浄工程洗浄はちょっと赤直すんですけど直さない。
2:06:30	アップデートスルーのかあ。
2:06:33	灯り相談でしたでしょうか。
2:06:36	腐植交換です。今のところ特にないという数だそうです。
2:06:50	あ、すみません、規制庁栗崎です。ガラス固化処理の話ですけど。
2:06:57	まだ工程の話はできないんですよ。
2:07:04	そうですね工程具体的に3号棒の熱上げまでの工程っていうのはまだちょっと検討している段階ですので、現状の、
2:07:14	進捗状況というだけの説明という形になるというふうには考えておりません。金属の試験の方、規制庁栗崎ですけども、白金族の模擬試験の方は言うて、もうこれで今回ご報告、ご説明いただくので、計画はせず、
2:07:32	どんな方向ですよ。
2:07:35	現職防災、その通りでございます。はい。ありがとうございます。わかりました。
2:07:42	ぜひオオシマです。藤議長。
2:07:46	時間チーム会合に向けて、また議題2なんですけど。
2:07:50	一応、今回はNULの確認試験の方ですね、工程洗浄進捗状況について、今ご説明いただきました。あと機構さんの中で考えてらっしゃるので、とかさ飯野県でしたっけ。
2:08:08	ちょっと
2:08:10	今想定されてる、ちょっと議題教えていただいてもよろしいでしょうか。
2:08:15	はい。お願いします。先ほど
2:08:21	ご発言いただきました3号溶融炉の運転条件確認試験等後工程洗浄後のこちらの方ですね安全対策の進捗状況の報告をさせていただきたいと考えているということです。
2:08:36	葛西委員。
2:08:39	すみません、原子力機構からですあとすみません先ほどの火災防護の件、その他施設の火災防護についても、ご報告する予定でおります。そちらについては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:49	ちょっと調整をさせていただいた上での報告ということになろうかと思えます。
2:08:54	新井田岩谷です。
2:08:59	あと肝心要の加算の形は、どうギイ段取りとスケジュール感で説明するのかっていう宿題が残ってたと思うんですけどそれは進んでますか。
2:09:14	はい。現状工夫です現業のは、そのようなことで進めたいというのは大内氏ありますけども、今、説明するような感じでもよろしいですか。
2:09:27	いや、かざりつけた方がいいと思うんで、
2:09:32	また別途でいいと思う。あとちょっと準備だけ進んでいるのかなっていうところでした。はい。
2:09:37	はい、わかりました。はい。
2:09:45	考え方がまとまっていなければ、今申し上げでしたら、ちょっと口頭でいただければはい。
2:09:56	最近結構 8 月 10 日にですね、面談時にはコメントいただきました火災防護対策その他施設の火災防護対策についても
2:10:07	今後の進め方についてちょっと
2:10:11	教えてくださいというコメントがありました。
2:10:15	とりあえず
2:10:16	体験第一課の心説明としてカバイーその他施設の火災影響評価の、このビーカの代表についての妥当性ということで
2:10:28	その発想考え方等、個別の評価としまして、も自信があるものと、自信のないものについてとりあえず説明していただきたいというのは、前回の面談でありましたので、
2:10:40	本文と、そのまま最も自身ダーといったもの、検討に前回のコメント添付 2 という資料になりますが、これについては、コメントを反映したものについては、ある程度合意替えられる有無。
2:10:54	とあってましてこれについては、
2:10:56	次回、次の面談でもう一度加西市の方に説明した上で、秋介護の方に示したいと。
2:11:04	で、あとフレッツ、自信がないのと言ってもう、
2:11:09	長官に時間もかかるものがあります。
2:11:12	白土さんの添付 10 の赤津関係の 7、対策なんですけどこれについては、次の面談で一度お話しまして、コメントの量にもよるんですが、
2:11:24	対応できるようなコメントであれば、これについても、次の会合で示して、
2:11:32	示していっていきたいなと思ってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:38	後いろいろと思う。
2:11:39	以前から面談で、コメントが一括して資料をつけてくださいと言ってアイフルの大岡釣室の菅開通のこのガイドに基づく評価の補足についても、これについても評価は間に合いそうですので、これについても、
2:11:55	次の面談でお示ししまして、合意がいれば、次の会合で示していくと。
2:12:04	それは本当だって今、今現状考えてございます。ありがとうございます。そうなるとうっかり2回、2回ですね、ざっくり2回で、もし宿題が出ちゃったときに、もう1回やるかとかそういうスケジュール感ですかね。
2:12:20	最初鈴木です。1回、ざっくり1回ざっくり2回ですか。
2:12:26	一色高野鈴木です。はい。
2:12:29	ちょっと12月の地域開発チーム会がわかんないけど、次回の幹事会理事会の開発チーム会合の方で、
2:12:39	議決案件が多くなるかもしれませんが、その時は野中、
2:12:44	佐伯的なものをピックアップして説明させていただいて、ちょっとまず、第2回ぐらいでちょっと終了させたいなというのは、考えてございます。
2:12:55	入ってありがとうございます。
2:13:00	歳出のやついつだっけ、どう。
2:13:04	ちょっと調整と来週この葛西のちょっと開発からのコメント対応と、このスケジュール感のご説明っていうのは、来週可能なんでしょうか。
2:13:18	はい。技師小杉です。はい。
2:13:20	前回の面談時、9月上旬位。
2:13:26	矢澤郷辺りだったら時間が取れるという話それに向けて資料の方を修正してるところです。9月の4日の週であれば何とか間に合いそうかなっていう感じですかね。
2:13:40	現職の笹本です。
2:14:01	その他確認事項ありますか。
2:14:09	教授、わかりますか。
2:14:15	さっき結城高校ですとかございません。
2:14:19	平常時、
2:14:21	また藤当社リンクに終了して終了したいと思います。どうもありがとうございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。